



# 泗水小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」



泗水小学校  
学校だより No16  
文責 芹川博文  
9月1日(金)

## 自らを変えていく力

「しなサイ」  から「やるソウ」  へ

「何も変わらないより、何かを変えていったほうがいい。何も変わらなかったら、前の年と同じ結果になる可能性は高いですし、変化を求めていったほうが僕は楽しいと思うんですね。これが良かった、これが悪かった。そういうのを繰り返したほうが面白いんじゃないかと思うんです。」  
(「道をひらく、海わたる ~大谷翔平の素顔~」より)



いつも、やらなければならない「しなさい」に囲まれて、しかたなくするタイプ



忙しい中でも「よし、やるぞー！」と、時に真剣に、時に楽しみながらやるタイプ

同じ「やる」にしても、「しなサイ」と言われてやるのと、「やるソウ」と思ってやるのでは大きな違いです。特にこれからの予測困難な時代では、上の大谷選手の言葉のように、自分から「何かを変えていく力」や、「変化を楽しむ力」が大切になっていくのだと思います。

### 周りが先回りしすぎない

そのためには、周りの大人が「先回りしすぎない」ことも必要です。心配のあまり、色々アドバイスしすぎること、本人のやる気をしばませることがあります。時には、「遠回り」や「失敗」と思えることでも、自分で考えさせることで最終的には本人の自律につながるのではないのでしょうか。

余談ですが、掃除機会社ダイソンの創始者ジェームズ・ダイソンは、自社の掃除機を開発するまでに5,000回以上の失敗をしたそうです。また、エジソンは、「私は、失敗したことがない。うまくいかない方法を1万通り発見しただけだ」という言葉を残しています。

私は、かつて中学校で担任をしていた頃、生徒に対して一方的に「連絡」か「注意」しかしていない自分に気付くことができました。そんな時は「心の余裕がなくなってきた証拠」と反省し、休み時間や放課後に生徒と時間を過ごしました。たわいもない話のやりとりで、少しずつ心が潤ってきたことを思い出します。

少し余裕をもち、「やるソウ」の意欲が伸びるよう、学校でも取り組んでまいります。

## 予想以上の暑さ

### 地球「沸騰化」の時代に突入？

今週は、予想以上の暑さでした。月曜、火曜は3時間授業でしたが、下校時の気温がこんなにも高いとは思いませんでした。

国連のグテーレス事務総長が「地球温暖化の時代は終わりました。地球沸騰化の時代が到来したのです。」と発表し、各国に対し気候変動対策を加速させるよう求めました。

私自身もこの夏を振り返ると・・・

- ・草の生え方が異常に早く、凶太い。
- ・アリが多く、向かってくる(刺してくる)。
- ・実家(菊鹿)で猪による被害が多発とのこと。など思い当たることもあり、気候だけでなく植物、虫、動物などにも変化が出ているのではと、勝手に感じているところです。

### 順応力と我慢する力

心配なのは、これから大人になっていく子どもたちです。暑さを避け健康を保ちつつも、その子に応じて「慣れていくこと」(順応性)や、「我慢する力」(耐性)を育てていく必要性を感じます。ヒントは、やはり自然の中にあると思います。朝夕など涼しい時間帯など、外に出て体を動かすことをお勧めします。幸い泗水小では朝の始業前や昼休みに、多くの児童が外に出ており、「たくましいなあ」と感じます。

## 泗水小ほっこり話

- 左上の写真(惑星のような球体)は、4年生男児作の手作り石鹸です。スタート初日、夏休みの自由研究作品の自主発表会?が職員室で行われていました。児童を囲んで歓声が上がる職員室。思わずカメラのシャッターを押した一枚です。(実物は色鮮やかです)
- 夏の間、3年生が植えた稲が見違えるようにたくましく育っていました。指導員の稲田さんの言葉通り、「ええあんばいに育つ」ことを実感しました。植物の力はすごい!
- 学校近くの歩道に伸びていたポンポン草を、次の日にはきれいに刈ってありました。どなたか分かりませんが、本当にありがとうございました。

